

南海トラフ大地震に備える

津波避難訓練 防災講演会

令和5年11月5日(日)、大崎町津波避難訓練および防災講演会を実施しました。

本津波避難訓練は、志布志湾大崎町沿岸部全域を対象に、南海トラフ大地震による大規模災害を想定した大崎町地域防災計画に基づく避難対策等を検証するもので、避難経路や避難場所の確認、要配慮者の避難対策等の検証・確認をおこなうとともに、各関係機関の連携を図り、町民の防災意識の高揚と知識の向上を目的として実施し、町民の皆さんや大崎町消防団員など約480名が参加しました。

津波避難訓練終了後には、町中央公民館において、大崎町防災アドバイザーの井村隆介さんによる防災講演会を開催しました。過去や他所で起

きた災害事例をもとに、「その時」に命を守る行動につながるお話をしていただきました。



大崎町防災アドバイザー 井村 隆介 さん

(鹿児島大学共通教育センター
准教授)

【大崎町防災アドバイザーの任期】

令和5年10月1日

～令和7年9月30日

【役職】

鹿児島県防災アドバイザー
国交省緊急派遣ドクター
霧島市ジオパークアドバイザー
他多数

【主な活動】

H7兵庫県南部地震緊急研究
(地質調査所所長賞共同受賞)、
H18垂水市土砂災害調査、H23
新燃岳噴火調査、H23東北地
方太平洋沖地震調査、H27口
永良部島噴火調査、R2球磨川
水害調査 など

災害時に備えて防災リュックを 用意しましょう！

防災リュックとは？

災害時に備えて日用品や食料品などを詰めた、非常用の持ち出し用リュックのことを言います。防災セット、防災バッグ、非常袋などとも呼ばれています。

災害はいつ、どこで起こるかわかりません。事前に防災リュックを用意しておくことで、万が一の際にもすぐに避難行動に移ることができま

す。

また、避難所では、生活に必要なものが十分に届かない可能性も考えられますので、生活に必要なものを備えておくこと、救援物資が届くまでの間、慣れない避難所での生活も安心できます。

防災リュックを用意する ときのポイント

貴重品や常備薬、少量の水、衛生品など、最低限のものだけを入れておきましょう。あまりにも荷物が多いと、緊急時に避難行動の妨げになってしまふ恐れがあります。

防災リュックは、基本的には家族一人につき一つを用意します。子どものいる家庭では、子ども用の防災リュックも用意しておきましょう。

家庭事情を考慮しながら災害時を想定し、「自分たちはどのような備えが必要なのか」をしっかりと考えて用意しましょう。